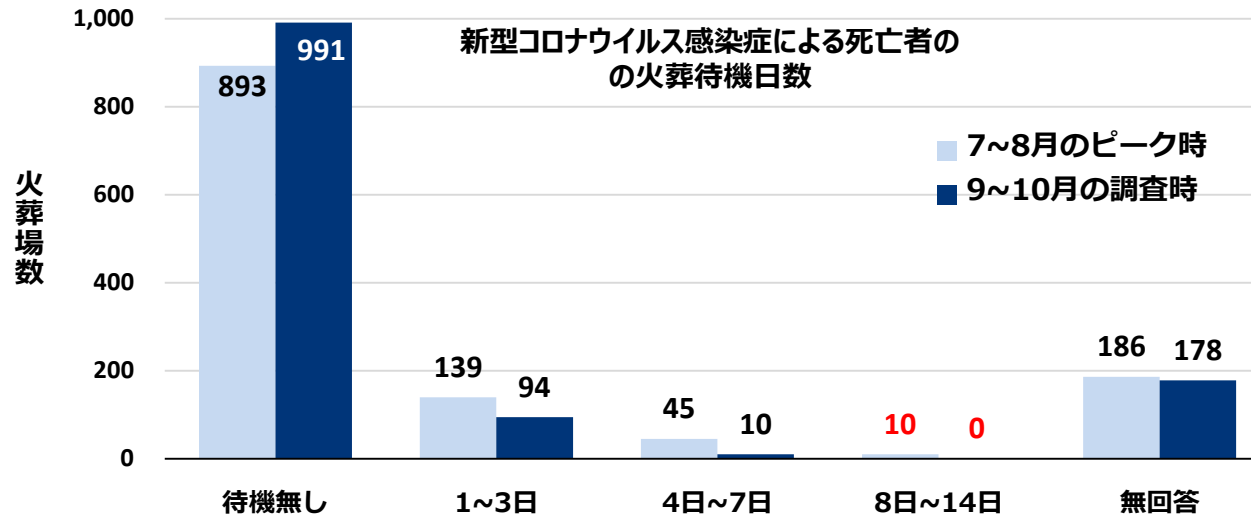


新型コロナウイルス感染症による死亡者の火葬の状況

- 新型コロナウイルス感染症による死亡者の火葬待機状況等について、都道府県を通じて、全国の火葬場の状況を確認した。
 - ・ 令和4年9月20日～10月10日に実施、火葬場1,277施設の回答（全国の火葬場数は1,400施設程度）

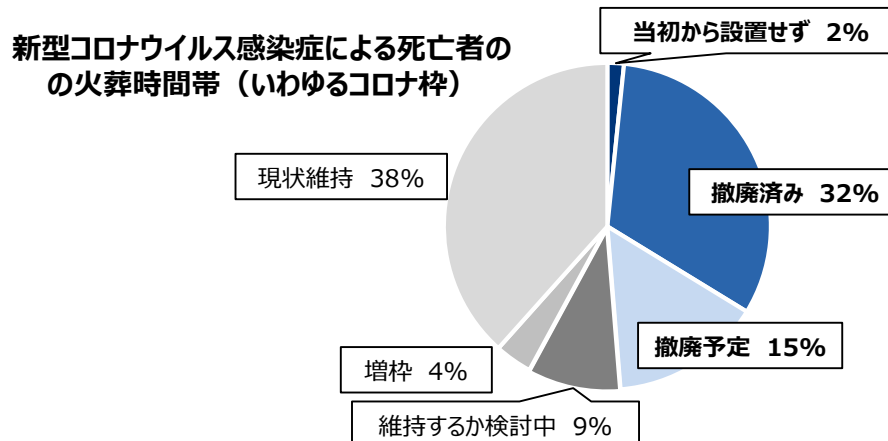
① 新型コロナウイルス感染症による死亡者の火葬待機日数

- ・ 火葬待機日数について、7～8月のピーク時に比べて、9～10月の調査時には、短縮した火葬場が多い。
- ・ 火葬待機日数が「8～14日」の火葬場が、7～8月には10施設あったが、9～10月はゼロになっている。



② 新型コロナウイルス感染症による死亡者の火葬時間帯（いわゆるコロナ枠）の撤廃状況

- ・ コロナ枠を設けない火葬場は、コロナ枠を撤廃予定を含めると、全体の約半数である。

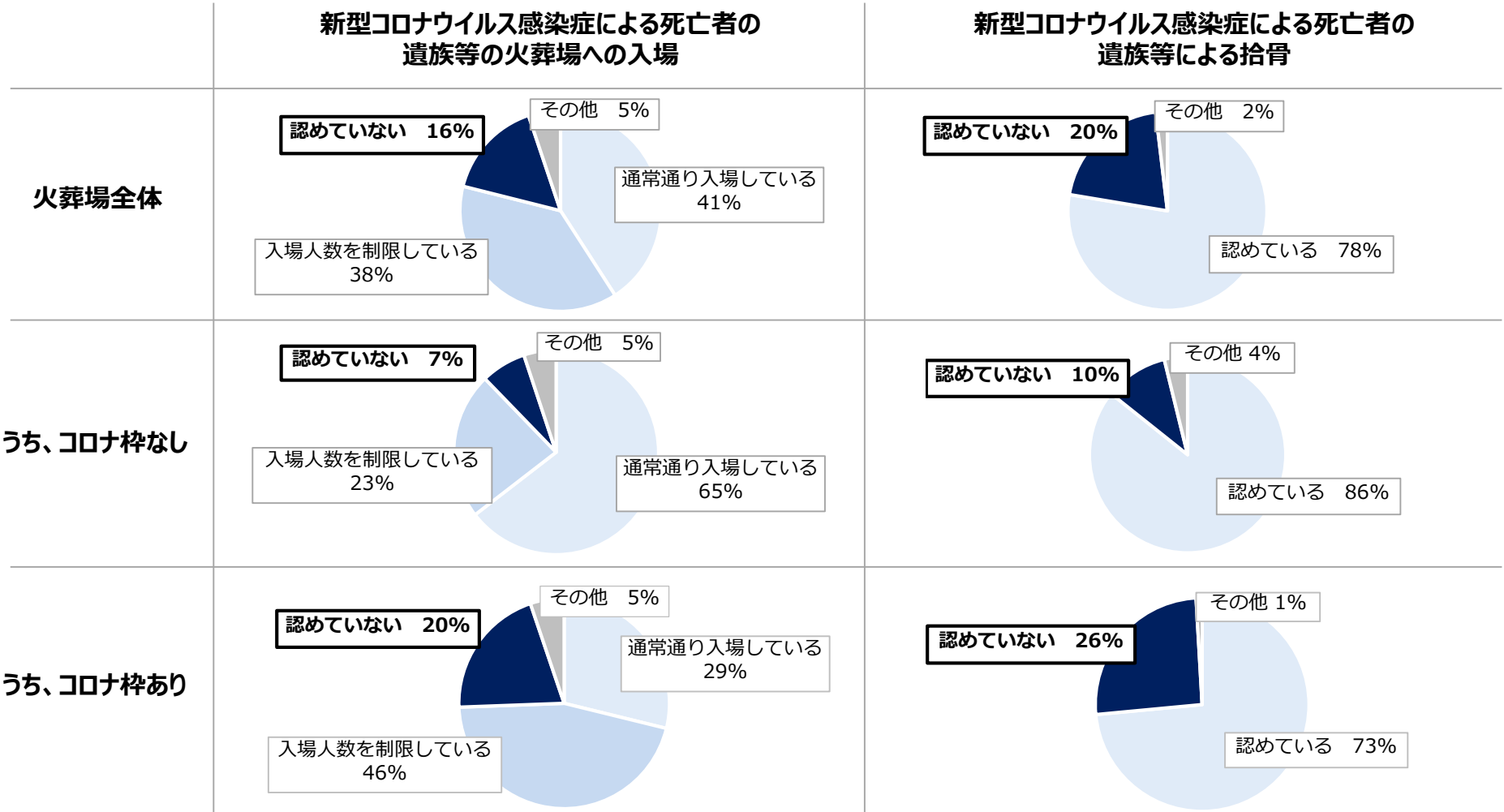


※ 新型コロナウイルス感染症による死亡者の火葬に対応していない火葬場（火葬場間の役割分担、小規模等）を除いた1,162施設で集計

新型コロナウイルス感染症による死亡者の火葬の状況

③ 新型コロナウイルス感染症による死亡者の遺族等の火葬場への入場、遺族等による拾骨の状況

- ・ 火葬場全体では、2割弱の火葬場が遺族等の火葬場への入場、遺族等による拾骨を認めていない。
- ・ コロナ柩を設けていない火葬場※では、1割程度の火葬場が遺族等の火葬場への入場、遺族等による拾骨を認めていない。
※ ②において「コロナ柩を当初から設定せず」「コロナ柩を撤廃済み」の火葬場
- ・ コロナ柩を設けている火葬場※では、2割程度の火葬場が遺族等の火葬場への入場、遺族等による拾骨を認めていない。
※ ②において「コロナ柩を現状維持」「コロナ柩を増柩」「コロナ柩を維持するか検討中」「コロナ柩を撤廃予定」の火葬場



※ 新型コロナウイルス感染症による死亡者の火葬に対応していない火葬場（火葬場間の役割分担、小規模等）を除いた1,162施設で集計